

令和7年度 第1回 made in ゆがわら認定審査委員会 会議録

令和7年5月19日（月）11時00分～12時00分
防災コミュニティセンター 206 会議室

出席者委員：石澤秀樹委員長、ほか委員5名

アドバイザー：政所利子（湯河原町観光アドバイザー）

事務局：観光課 宮下課長、加藤副課長、財政課 齋藤課長、上野係長

【会議次第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 案件
 - （1）made in ゆがわら認定品について
 - （2）ふるさと納税

【協議事項の議事概要】

- 1 開会
 - 事務局より開会のあいさつ
 - 任期満了による新委員の紹介、挨拶
 - 任期満了による新委員長、副委員長の選出
 - 委員長挨拶

（石澤委員長）

それでは事務局から「made in ゆがわら認定品について」説明をお願いします。

（事務局）

どら焼き和果さんが廃業、同じ職人さんが「どら焼き絃（いと）」を開業されたため、記載事項変更届出書が提出されました。内容を修正し、今後も認定品として掲載するというご報告でございます。

パンフレットは現在配布している在庫がなくなり次第、次の校正のタイミングで新しい情報、写真等を掲載する予定です。

（石澤委員長）

では案件2、ふるさと納税の返礼品の認定について、事務局からご説明をお願いします。

—事務局より説明—

（石澤委員長）

ではまず、1番から審議したいと思います。これについて何かご意見ございますでしょうか。

(委員)

金額は何キロに対してですか。

(事務局)

段ボールごとに5キロ、10キロ、15キロとございます。

(石澤委員長)

この価格で10キロはないと思うので5キロではないでしょうか。

(委員)

早生は割安なんですか。

(石澤委員長)

去年ですと1,000円近かったです。時期にもよると思いますが、一応参考価格ということですかね。ふるさと納税、私も参加させていただいてますけど、その年その年で担当者さんから今年はこの金額でいいですかと確認があるので大丈夫だと思います。

(委員)

早生みかんっていくつか種類があって、湯河原では宮川早生みかんが一番作られているということなんでしょうか。

(石澤委員長)

そうですね。一番一般的な早生みかんで早生の元祖になりますね。

ほかにご意見等ございますか。なければ、ふるさと納税にふさわしいかどうか挙手でお願いします。

—全員挙手—

(石澤委員長)

では満場一致で認定ということでお願いいたします。

続いて2番、事務局より説明をお願いします。

—事務局より説明—

(石澤委員長)

何かご意見ございますか。

青島みかんは本来1月に食べられることが多いんですが、温暖化の影響なのか12月でも出荷されるようになって、うちのお店でも12月1日からお店並べてお客さんにも十分食べれるということで、お歳暮の時期にいいのかなと思います。

(委員)

湯河原って大津みかんと青島みかんだと青島みかんが多く作られてるんですか。

(石澤委員長)

正直青島みかんですね。青島のほうが毎年成るので、大津は両極端なこともあって、大津のほう作りにくいというか、作り手としては作りやすいほうが…

みかんとしては一番大きな品種で甘夏より大きくなることもあります。

(委員)

湯河原でよくみるみかん畑はわりと青島みかんが多いんですか。

(石澤委員長)

そうですね、早生より青島が多いんじゃないでしょうか。

ほかにご質問ございますか。なければ認定でよろしいという方、挙手でお願いします。

—全員挙手—

(石澤委員長)

では満場一致で認定ということでお願いいたします。

続いて3番、事務局より説明をお願いします。

—事務局より説明—

(石澤委員長)

ご質問等ございましたらお願いします。

なお、返礼品の中に農協さんの湘南ゴールドがありますが、違いとしては気まぐれファームさんはハウス栽培です。普通は3月から4月くらいに出荷することが多いんですが、2月から出せるのが気まぐれファームさんの特徴かなと思います。

(委員)

石澤委員長や農協さんとちょっと時期が違うってことですか。

(石澤委員長)

そうですね、うちは3月後半からしか出さないの。だいぶ早いと思います。

(委員)

これ全部種がないんですか。

(石澤委員長)

そんなことはないと思います。ハウスで作る分、ほかの花粉が入らなくて種が少なくできるということだと思います。

(委員)

これ認定されたらみかんが3点別々に掲載されるんでしょうか。

(委員)

そうですね、ホームページ等では別々にご紹介できるんですけど、パンフレットにするとページを増やしたり予算の問題がでてしまって要検討になってしまいますね。

(委員)

書き方もいろいろあると思うんですけどすっきりさせてほうがかっこいいかなと思います。

(事務局)

大きな枠でみかんならみかんのカテゴリにして、消費者さんに選んでもらうというかたちにしたいと思います。

(石澤委員長)

ほかにご質問ございますか。

(委員)

名称はこのままの名称で応募かけるんでしょうか。例えば湘南ゴールドが欲しくて検索かけたとして、いっぱい出てきちゃうと思うので、何かキャッチフレーズがあったりとか、オリジナリティを出すような名称を入れておくとかちょっと見てみようかなって気持ちになるのかなと思います。

(石澤委員長)

「気まぐれファームの」みたいな…

(事務局)

おっしゃるとおりかなと思います。あとはふるさと納税のポータルサイトの写真にくわえて文字で「気まぐれファーム」のみかんと視覚的に見えるようなかたちで載せられたらいいのかなと思います。

(石澤委員長)

ほかにご質問ございますか。なければ認定でよろしいという方、挙手でお願いします。

—全員挙手—

(石澤委員長)

では満場一致で認定ということでお願いいたします。

続いて4・5番、事務局より説明をお願いします。

—事務局より説明—

(石澤委員長)

今、試食の準備をしますので、次6番の説明をお願いします。

—事務局より説明—

(委員)

個人の方ですか。

(事務局)

個人の方ですね。

(委員)

これで1,200円ですか。

(事務局)

あとメッセージカードがつきます。

(委員)

火をつけたりできないですか。香りとか

(事務局)

今準備します。

(委員)

ふるさと納税の返礼品としてはちょっとがっかりされてしまうかも。

(政所先生)

火をつけてちょっと置いておいて様子見てみましょう。

これはアロマキャンドルですか。

(委員)

アロマとは書いてないですね。

(委員)

メッセージカードが重要だったのかもしれないです。それに何か書いてあって返礼品としての意味があるとよかったかもしれないですね。

(事務局)

返礼品としてふさわしいかっていう部分が…

(政所先生)

そこの線引きだけですね…

(事務局)

キャンドルについては事務局も確認不足で申し訳ございません。こちらについては保留にさせていただいて、次回以降の審査委員会で再度お諮りさせていただければと思います。

(委員)

もし可能であればご本人に来ていただいて、ご説明いただけたらと思います。何かこれに背景があればいいなと思います。背景も含めて湯河原の特色っていうのがあればいいなと。

(石澤委員長)

ほかに何かございますか。

では私の方から、事務局から申請者さんに一応改良の余地ありとお伝えいただけたらいいかなと思います。炎が安定するまで素人には扱いづらかったり諸々ですかね…

(事務局)

承知いたしました。

(委員)

PRの仕方なんですけど、形を魅力っていうのは難しいかなと思います。文章を変えるようであればわかりやすい工夫が必要かなと思います。

(石澤委員長)

一応、認定について挙手でお願いします。

—全員なし—

(石澤委員長)

ではこちらは見送りということでお願いいたします。

では戻りまして、4・5番ご試飲いただいて、ご意見をお願いします。

製造しているもとの果実は湯河原で生産されたものを私が仕入れて、廃棄になりそうなものを加工品として、町内の加工場で加工してもらって販売しているものになります。

販売実績は両方あわせて去年は1,000本販売させていただいております。

(委員)

だいたいを湯河原で作ってらっしゃる方がいるんですか。

(石澤委員長)

そうですね。湯河原の隣、熱海市が一番作ってはいるんですが、この辺では昔から作っている品種ですね。だいたいの需要が減ってきているところで、余った果実の再利用というところもあります。そのまま食べる品種ではないので、川崎大使のお飾りでも湯河原のものが使われてて、ただそれだけでは消費しきれないのでそれを使っています。

(委員)

実際、廃棄分を使っているのか、この商品のために仕入れているのかどうですか。

(石澤委員長)

きっかけは廃棄でしたけど、取らずに生らしましなところもあるんです。それが熟れてきたのを買い取らせてもらってるのがあります。

(政所先生)

今までの時代は売るために物を仕入れたりしてたじゃないですか。でも今ってあるものをどうやって生かすのかっていうのが今のSDGsにも表現されているので、捨てられてしまうかもしれないものが生きるっていうのが説明の文章にあるとより背景が伝わって感情が動くようなものになるかなと思います。

(委員)

私は完熟とか熟れてるって言葉があると惹かれますね。

(委員)

炭酸などで6倍に割って、3リットル分楽しめるっていうのは。

(石澤委員長)

容量が520mlなんですが、約6倍になりますので3リットル分は楽しめます。もっと薄くていい方はもっと楽しめます。

(政所先生)

安定させるものみたいなのは入ってないですかね

(石澤委員長)

糖液と果汁、あとは煮沸消毒してくらいです。

(政所先生)

そういうのも書いた方がいいと思います。

(委員)

パッケージが同じようなのがもったいないなと思いました。同じのが2本あるようにみえて…

(石澤委員長)

シールか何かで区別できるように検討します。

他にご意見なければ、認定でよろしいという方、挙手をお願いいたします。

—全員挙手—

(石澤委員長)

ではこちらも満場一致で2つとも認定ということでお願いいたします。

続いて7番、事務局より説明をお願いします。

—事務局より説明—

(政所先生)

これは通常の入場券として売っているものですか。表紙がついてめくるようなものですか。

(事務局)

こちらは封筒です。封筒の中に回数券が入っているものです。

(委員)

これは裏に何か施設の詳細が書いてあるんでしょうか。

(事務局)

裏は白紙だったかと思います。

(政所先生)

できたら何か場所とかパンフレットの的なものがあつた方が…

(委員)

温泉の効能とか湯河原がどんなところかとか書いてあるといいと思います。

(政所先生)

通常の販売価格は。

(事務局)

1,100 円です。

(政所先生)

個人的に温泉が好きなんですけど、いいところは団体でも通うんですね。なので回数券は案外いいんじゃないかと思います。できれば源泉とか露天風呂から景色が見えますとか、その魅力ってゆったりできるところや、自転車やツーリングでも駐車場が広いので利用できて、そういうところも書いておいた方がいいんじゃないでしょうか。

この回数券っていう形は初めてですか。近隣でないですか。

(事務局)

町ではゴルフ場の回数券とかありますね。

(委員)

「いい湯の話」って観光課さんで出してますか。

(事務局)

観光課ではないですが、過去に作っていたことはあるんですが、今在庫もあまりないような状況ですね。

(委員)

公共のお湯のことや温泉のことが色々書いてあるので、可能ならそういうのをつけてあげるといいのかなと思います。

(政所先生)

一般の人だと高いなと感じそうなので、袋に入ってるとかプラスアルファ何かあるといいですね。

(委員)

温泉の素が入ってるとかあるといいですね。

(政所先生)

ふるさと納税の返礼品のバリエーションとしてはいいと思うんです。

(事務局)

「いい湯の話」の再版は可能だと思います。ただ当時はあまり出ていかなかったり、使い切って今は在庫がないっていう状況です。

(政所先生)

より湯河原の魅力が伝わるとと思います。

(石澤委員長)

ほかにご意見ございますでしょうか。なければ、認定について挙手お願いいたします。

—全員挙手—

(石澤委員長)

ではこちら満場一致で認定ということでお願いいたします。

今回は7品目中6品目認定という結果となりました。

最後に事務局から何かございますでしょうか。

(事務局)

最後、政所先生に、総評いただければ…。

(政所先生)

皆様ありがとうございました。

皆さんから声があったところ、気になったところ、検討いただきたいなと思いました。

私も一般のマーケットで湘南ゴールドを見て一般化されてきましたから、ここできちっと魅力を伝えるというようなことを説明のところにそれぞれ加えていただけたらなと思います。一般名称にプラスアルファ湯河原ならではの文章を加えていただけたらと、1点感じたところです。

それからシロップについては一文追加してもらえたらわかりやすいかなと思います。

ごめめの湯に関しては値段は高くないので、少し説明とお得感があるとよりよいかなと思います。

それからキャンドルなんですけど、皆さんからいろいろ意見が出たと思うんですが、湯河原とみかんをつなぐ関連商品としては重要で、効果は十分かなと思います。今後こういったみかんシリーズみたいなのがでてくるといいかなと思いました。製品としての成熟度とは別にもう少し改良点考えてもらったらあわせていいかなと思います。ありがとうございました。

(石澤委員長)

ありがとうございました。では本日の案件終了いたしましたので、事務局に返させていただきます。

(事務局)

長時間にわたり貴重なご意見ありがとうございました。本日の認定審査委員会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。